

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 7日

中施策事業名	図書館施設維持管理事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	13 教育や子どもに関する予算が確保され、教育環境がよい		
②大施策	教育や子どもに関する予算を確保し、教育環境を整える		
③中施策	学校以外の教育施設・設備を充実する		
④中施策事業の対象	図書館施設		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	施設の改修や維持管理が適切に実施され、快適に利用できる環境が整っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設の維持管理事業 ・展示室事業 ・施設利用及び年間行事予定事業 ・館内の美化事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
入館者数（本館・南部公民館図書室）	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	239,000	239,000	239,000	0	0	0
	実績値	154,648	181,160				
単位	人						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				110, 588千円	26, 076千円	
	a 事業費合計			110, 588千円	26, 076千円	22, 947千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				75千円
③ コスト (①－②)				110, 513千円	25, 039千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 606 円	364 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>目標値には達していないが、安定した数値である。トイレ改修工事後は利用者にとって利用しやすい館内となった。また、電気設備を更新し安定した電気の供給ができるよう工事を行い利用しやすい環境を整えた。</p> <p>寄附金をいただき、館内で使用する備品（案内板やブックトラック等）の購入を行った。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引続き、利用者が利用しやすい館内整備をし設備の充実を行いより良い環境に努める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	閉架書庫（電動）に収蔵してある蔵書を、安全に貸出できる状態にするため令和8年度から令和11年度の4年間で改修工事を行う。また、経年劣化による電話機の取替えを令和8年度で行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 16日

中施策事業名	資料情報管理事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	市内外の人がとよあけの魅力を楽しめる環境をつくる		
④中施策事業の対象	図書館資料		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	図書館資料の詳細データが整備され、検索が容易にできる状態となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 資料総点検全般事業 ・ 電算システムの管理事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
年間の予約件数 (web予約含む)	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	12,000	12,000	12,000	0	0	0
	実績値	21,605	20,400				
単位	件						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				9,021千円	11,245千円	
	a 事業費合計			9,021千円	11,245千円	10,681千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				0千円
③ コスト (①－②)				9,021千円	11,245千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				131 円	163 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>目標値は達成出来ている。来館者数も安定している。</p> <p>今年度数値が減少したのは、昨年度トイレ改修工事のため約3ヶ月休館したため、インターネットでの予約数や検索数が増加したと思われる。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引続き、利用しやすい書架の配置や資料案内をし環境を整え、利用者が来館できる館内整備をする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	令和8年度は図書館システム更新を行い利用者のサービス向上に繋げ、利用者が必要とする資料案内ができる環境づくりを行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 7日

中施策事業名	図書館資料貸出事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	新しい文化を醸成する		
④中施策事業の対象	図書館利用者（児童・生徒とその保護者及び関係する地域住民）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	読書推進によって、子どもの情操教育が充実し、市民も豊明の歴史・伝統・文化に対する関心が高まっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 広報、館報、HP、電子掲示板、メール配信事業・一般書事業・児童書事業・図書館用AV資料事業・レファレンスサービス事業・相互貸借事業・利用案内事業・利用推進事業・学校連携、職場体験事業・ボランティア事業・南部公民館図書室改善事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
年間貸出点数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	450,000	450,000	450,000	0	0	0
	実績値	392,139	437,662				
単位	点						
新規登録者数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	1,500	1,500	1,500	0	0	0
	実績値	1,038	1,127				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)				40,032千円	46,429千円	
	a 事業費合計			40,032千円	46,429千円	45,935千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				40,032千円	46,429千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				582 円	675 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>目標値には達していないが、安定した数値になった。毎月の「おすすめ本コーナー」や「今月の本棚」での貸出も増加に繋がった。また、新規の講座や行事も行い来館者数も増加した。</p> <p>図書館システム更新にあたり、利用者にとって利便性を重視したものとなるよう検討した。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引続き、新規の講座や行事、イベント等を企画し開催することで参加者が集まり来館者数の増加に努める。また、南部公民館図書室についても、利用者の増加に繋がる蔵書の充実をはかると共に市民サービスの向上に努める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	新たな講座や行事等を行い引続き充実させる。また、南部公民館図書室についても、利用しやすい環境に整え、蔵書の充実を努める。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 16日

中施策事業名	郷土資料保存事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	水野 美樹
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	郷土資料等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	豊明の歴史、伝統、文化に関する資料及び情報が収集されるとともに利用しやすい環境が整備されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 参考資料室事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
郷土資料の貸出冊数（原則館内利用だが、5日間の特別貸出可能）	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	100	100	100	0	0	0
	実績値	27	26				
	単位 冊						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和05年度	令和06年度	令和07年度	
① 総事業費 (a+b)				883千円	1, 327千円		
	a 事業費合計			883千円	1, 327千円	1, 012千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)			883千円	1, 327千円			
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				13 円	19 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>貸出冊数は、目標値に達していないが例年通り一定数の利用はある。また、閲覧者の利用もある。</p> <p>書架の配置等を整理し、利用者が利用しやすいように整えた。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引続き、郷土資料の充実と書架の配置を工夫し、利用者が利用しやすい環境を整える。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	郷土資料の貸出冊数を増加させるため、蔵書の充実や利用しやすい書架の配置に努める。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等